

## Press Information

2006-07-28  
No.06-09

### 第34回ニュルブルクリンク24時間耐久レース 当社ブレーキシステム装着車が2位を獲得

6月17日（土）から18日（日）にドイツで行われた第34回ニュルブルクリンク24時間耐久レースに、当社ブレーキシステム装着車が出場し、2位を獲得しました。

当社にとって初めてとなる24時間耐久レースに供給したのはフロント6POT、リア4POTのブレーキシステムです。

全長約25Km、高低差300m、コーナー数186と最も過酷な事で知られるこのレースの予選を通過したのは220台。当社が開発を進めてきたハイパフォーマンス用ブレーキシステムは約3,800Km（24時間で150LAP）の走行をスタートからゴールまで一度のトラブルもなく高いパフォーマンスを発揮しました。その結果、当社システム装着チーム「Jürgen Alzen Motorsport」が、堂々の2位を獲得、当社システムのポテンシャルを証明しました。



7月28日付け当社新聞広告



フロントブレーキシステム



リアブレーキシステム

その後の7月8日（土）に、同コースで行われた4時間耐久レースにおいても、さらにディスクブレーキパッドのチューニングを行い、当社ブレーキシステム装着車がPole to Winで優勝しました。

当社では、このような自動車以外の分野でも、モータースポーツに参加しています。

マウンテンバイクダウンヒル（JCFジャパンシリーズ）では、当社ブレーキシステムを3台に供給しています。昨シーズンは、その3台が年間総合1位から3位を独占。今シーズンも好成績を収め続けており、第2戦まで表彰台を独占、7月16日（日）に行われた第3戦でも、1位、2位、4位を獲得し、好成績を収めました。

また、モーターサイクルにおいても、昨年の全日本ロードレース選手権 J S B 1000クラスでは、1度のリタイヤもなく、8戦中4戦で優勝を飾り、シリーズチャンピオン獲得という高い成果をあげています。



これまで、開発を続けてきた当社のブレーキシステムは着実な進化を続けています。今回の耐久レースでの好成績は、その進化による当社システムの高いポテンシャルを裏付けるものです。

今後も、モータースポーツへの参画を通じて、様々な知見を獲得し、さらに技術力を高めていきます。